



今井絵美子さん

「芦田川」発売記念

トーク&サイン会

ゲスト：崔洋一さん(映画監督)、佐藤陽子さん(ヴァイオリニスト)

日時

4月15日(土)
14時開演

場所

啓文社ポートプラザ店
イベント会場

サイン会には、整理券が必要です。
トークショーでは、整理券をお持ちの方を優先して、席にご案内します。
整理券は、啓文社にて「芦田川」をお買い上げでご希望のお客様にお渡しいたします。(先着 100 名様)



●崔洋一 (さい・よういち)

日本の映画監督、脚本家、俳優。主な監督作品に『月はどっちに出ている』『マークスの山』『血と骨』『カムイ外伝』など。日本映画監督協会理事長、株式会社ネクステップ顧問、民間放送教育協会理事を歴任。

●佐藤陽子(さとう・ようこ)

ヴァイオリニスト・声楽家・エッセイスト。3歳よりヴァイオリンを始め、1971年にモスクワ音楽院を首席で卒業した後、フランスに留学。声楽をマリア・カラスに師事。76年に帰国し、アーティストとしての演奏活動のかたわら、エッセイの執筆やミュージカル歌手としてタレント活動も続ける。福山では、今井画廊で池田満寿夫氏とともに個展やリサイタルをしばしば開催するなど、縁が深い。

●今井絵美子 (いまい・えみこ)

広島県生まれ。成城大学文芸学部卒。画廊経営、テレビプロデューサーなどを経て、1998年「もぐら」で第16回大阪女性文芸賞佳作、2000年「母の背中」で第34回北日本文学賞選奨受賞。02年、第2回中・近世文学大賞最終候補作となった『蘇鉄のひと玉蘊』を郁朋社より刊行。03年「小日向源伍の終わらない夏」で第10回九州さが大衆文学賞大賞・笹沢左保賞、15年「立場茶屋おりき」シリーズで第4回歴史時代作家クラブ賞シリーズ賞を受賞。「照降町自身番書役日誌」「髪ゆい猫字繁盛記」等の人情味あふれる人気シリーズを多数抱える一方、『鷲の墓』『群青のとき』『綺良の桜』等の歴史時代小説、自叙伝『いつもおまえが傍にいた』なども精力的に発表。本作は、著者初の現代小説である。

